

平成25年度 保育所歯科保健状況調査結果の概要

1 目的

健康おきなわ21では幼児期の歯の健康指標として、むし歯有病者率の減少（3歳児）を掲げ、現状の43.5%（平成18年度）から、平成24年度：30%、平成29年度：25%の目標達成に向け、取り組みを推進しているところである。

幼児期の健康づくりの一環としてのむし歯予防対策は、歯みがき・甘味制限・フッ化物応用を取り入れることが効果的であり、県では個人のみならず、保育所等集団での取り組みを推進・支援している。

そこで、経年的に県内保育所における歯科保健活動状況について調査し、県、市町村及び各保育所における取り組みの評価や施策に反映させることを目的として調査を行う。

また、保育施設では定期的に歯科健康診断を実施しており、その健診結果を統計的に活用するため、あわせて調査を行う。

3 調査対象

県内保育所：415か所（内訳：公立94、私立認可307、へき地14）

4 実施時期

平成25年10月～11月

5 調査票の配布及び回収

- ・県健康増進課から各保育所あて調査票を郵送にて配布をする。
- ・各保育所は、状況調査を記入の上、管轄保健所へFAXにて提出する。
- ・各保健所は、管内保育園の状況を確認し、調査票及び電子データを県健康増進課あへ提出。
- ・415施設中413施設回答（回収率99.5%）

6 調査項目

- （1）歯科保健活動状況
- （2）歯科健康診断の実施状況及び結果
- （3）歯科保健に関する要望や困っていること（自由記載）

7 調査票の集計と分析

県全体の調査票の集計は健康増進課にて行い、結果は各市町村関係課あて送付する。なお、施設毎の結果の公表は行ないません。

平成25年度 保育所歯科保健活動状況調査回収状況

(施設数はH25.8月現在)

	市町村	公立	私立認可	へき地	保育所数	回収枚数	回収率	保育所数	回収数	回収率
1	国頭村	2	0	1	3	3	100.0%	47	47	100.0%
2	大宜味村	2	0	0	2	2	100.0%			
3	東村	1	0	0	1	1	100.0%			
4	今帰仁村	4	0	0	4	4	100.0%			
5	本部町	1	4	0	5	5	100.0%			
6	名護市	1	27	0	28	28	100.0%			
7	伊江村	2	0	0	2	2	100.0%			
8	伊平屋村	1	0	0	1	1	100.0%			
9	伊是名村	1	0	0	1	1	100.0%			
10	恩納村	3	0	0	3	3	100.0%	127	127	100.0%
11	宜野座村	1	2	0	3	3	100.0%			
12	金武町	4	0	0	4	4	100.0%			
13	うるま市	5	26	0	31	31	100.0%			
14	沖縄市	8	32	0	40	40	100.0%			
15	読谷村	3	6	0	9	9	100.0%			
16	嘉手納町	2	0	0	2	2	100.0%			
17	北谷町	3	4	0	7	7	100.0%			
18	北中城村	1	2	0	3	3	100.0%			
19	中城村	1	2	0	3	3	100.0%			
20	宜野湾市	3	19	0	22	22	100.0%			
21	浦添市	4	22	0	26	26	100.0%	122	122	100.0%
22	久米島町	1	3	0	4	4	100.0%			
23	渡嘉敷村	0	0	1	1	1	100.0%			
24	座間味村	保育所設置なし								
25	栗国村	0	0	1	1	1	100.0%			
26	渡名喜村	保育所設置なし								
27	南大東村	0	0	1	1	1	100.0%			
28	北大東村	保育所設置なし								
29	西原町	1	8	0	9	9	100.0%			
30	豊見城市	2	14	0	16	16	100.0%			
31	糸満市	5	15	0	20	20	100.0%			
32	八重瀬町	1	11	0	12	12	100.0%			
33	南城市	2	12	0	14	14	100.0%			
34	与那原町	2	5	0	7	7	100.0%			
35	南風原町	1	10	0	11	11	100.0%			
36	宮古島市	10	12	0	22	21	95.5%	23	22	95.7%
37	多良間村	1	0	0	1	1	100.0%			
40	石垣市	5	10	2	17	17	100.0%	26	26	100.0%
41	竹富町	0	0	7	7	7	100.0%			
42	与那国町	1	0	1	2	2	100.0%			
43	那覇市	9	61	0	70	69	98.6%	70	69	98.6%
	沖縄県	94	307	14	415	413	99.5%	415	413	99.5%

保育所歯科保健活動状況まとめ(平成25年度)

1. 嘱託歯科医の有無

	施設数	(%)
いる	410	99.3%
いない	3	0.7%
計	413	100.0%

へき地保育所の一部では嘱託歯科医が設置されていない。

2. 定期歯科健康診断の実施状況

	施設数	(%)
実施	410	99.3%
未実施	3	0.7%
計	413	100.0%

へき地保育所の一部では定期歯科健診は実施されていない。

(実施回数)

	施設数	(%)
1回	20	4.9%
2回	385	93.9%
3回以上	5	1.2%
計	410	100.0%

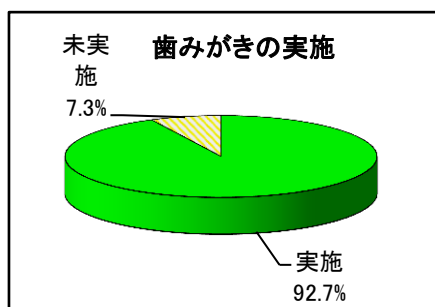
2-2. 定期歯科健康診断後の治療の必要性の保護者への伝達

	施設数	(%)
実施	410	100.0%

○定期歯科健康診断は、へき地保育所の一部を除いたほぼ全ての施設で実施されています。(95.1%の施設で2回以上実施)
○治療の必要性についての保護者への伝達は、定期歯科健康診断を実施している全ての施設で実施されています。

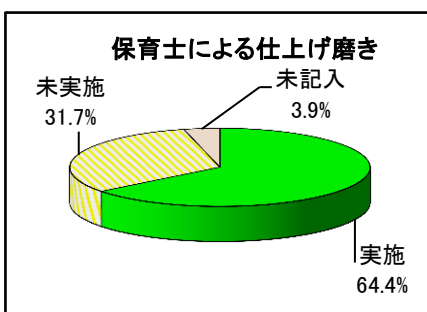
3. 歯みがきの実施状況

	施設数	(%)
実施	383	92.7%
未実施	30	7.3%
計	413	100.0%



3-2. 保育士による仕上げ磨きの実施状況

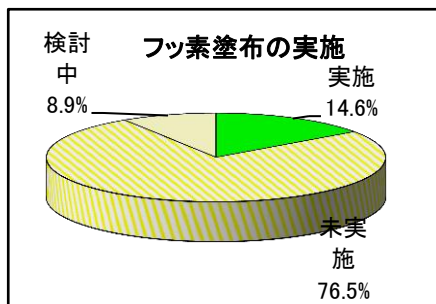
	施設数	(%)
実施	266	64.4%
未実施	131	31.7%
未記入	16	3.9%
計	413	100.0%



4. フッ化物応用の実施状況

(1) フッ素塗布

	施設数	(%)
実施	59	14.6%
未実施	310	76.5%
検討中	36	8.9%
計	405	100.0%

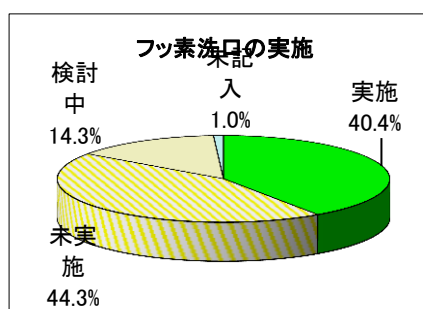


(実施回数)

	施設数	(%)
1回	15	25.4%
2回	35	59.3%
3回以上	9	15.3%
計	59	100.0%

(2) フッ素洗口

	施設数	(%)
実施	167	40.4%
未実施	183	44.3%
検討中	59	14.3%
未記入	4	1.0%
計	413	100.0%



(フッ素洗口の回数)

	施設数	(%)
週1回	6	3.6%
週2回	1	0.6%
週3回	3	1.8%
週5～6回	157	94.0%
計	167	100.0%

(フッ素洗口の薬剤)

洗口剤の種類	施設数	(%)
市販製剤		
ミラノール	122	73.1%
オラブリス	23	13.8%
フッ化ナトリウム試薬	22	13.2%
計	167	100.0%

(3) フッ素配合歯磨剤

	施設数	(%)
使用	48	11.6%
未使用	307	74.3%
歯みがき実施なし	23	5.6%
検討中	31	7.5%
未記入	4	1.0%
計	413	100.0%



フッ化物洗口とは

○フッ化物洗口液でうがい(ブクブク)をする方法です。週1回法と毎日法があり、うがいがじょうずにできる4歳頃から永久歯がそろった中学生まで行くとむし歯を約半分に減らせる効果があります。

○家庭でもできますが、健康教育の一環として園や学校などの集団で行うと継続しやすく、高い効果が期待できます。

○むし歯予防効果(永久歯): 40～60%
5mmの洗口液でうがいをします



用語について:

「フッ化物」は無機化学命名法(IUPAC,1990年勧告)による専門用語ですが、調査票では慣用的に使

5. 健康教育・情報提供等についての取組状況

複数回答

選択肢の内容		施設数	(%)
園児への歯の健康に関する読み聞かせ		377	92.4
むし歯ゼロや治療済の園児の表彰		155	38.0
おやつ工夫		184	45.1
歯科医師、歯科衛生士による講話や歯みがき指導		149	36.5
対象者	園児	72	17.6
	保護者	37	9.1
	園児及び保護者	38	9.3
園便り、お便りなどでの保護者への情報提供		351	86.0
その他＊		41	10.0
回答総施設数		408	100.0

その他＊の内容について

- ・入所オリエンテーションや入園式での囑託歯科医によるフッ化物洗口説明の実施
 - ・歯の衛生週間で、むし歯予防集会など行事の実施
 - ・歯科医師会、行政からのイベントのチラシの掲示や配付
 - ・3, 4歳児は、週に1回歯垢染色ジェルを使用し手鏡を見ながら歯みがき指導
 - ・むし歯予防デーの時期に親子歯ブラシ教室
 - ・看護師による園児へ歯みがき指導、食育集会で栄養士による栄養指導
- カミカミ運動、舌の運動指導
- ・親子歯科健診の実施、デンタルフェアへの参加呼びかけ、市の歯科保健事業への呼びかけ

平成25年度 保育所歯科保健状況調査実施要領

1 目的

健康おきなわ21では幼児期の歯の健康指標として、むし歯有病者率の減少（3歳児）を掲げ、現状の43.5%（平成18年度）から、平成24年度：30%、平成29年度：25%の目標達成に向け、取り組みを推進しているところである。

幼児期の健康づくりの一環としてのむし歯予防対策は、歯みがき・甘味制限・フッ化物応用を取り入れることが効果的であり、県では個人のみならず、保育所等集団での取り組みを推進・支援している。

そこで、経年的に県内保育所における歯科保健活動状況について調査し、県、市町村及び各保育所における取り組みの評価や施策に反映させることを目的として調査を行う。

また、保育施設では定期的に歯科健康診断を実施しており、その健診結果を統計的に活用するため、あわせて調査を行う。

2 実施主体

沖縄県

3 調査対象

県内保育所：415か所（内訳：公立94、私立認可307、へき地14）

4 実施時期

平成25年10月～11月

5 調査方法

（1）調査票の配布及び回収

県健康増進課から各保育所あて調査票を郵送にて配布をする。

各保育所は、平成25年度の状況を記入し、管轄保健所（→別紙参照）へFAXにて提出する。

（2）調査票の提出

各保健所は集計表に入力後、調査票を添えて健康増進課あて提出する。

6 調査項目

（1）歯科保健活動状況

（2）歯科健康診断の実施状況及び結果

（3）歯科保健に関する要望や困っていること（自由記載）

7 調査票の集計と分析

県全体の調査票の集計は健康増進課にて行い、結果は各市町村関係課あて送付する。なお、施設毎の結果の公表は行わないものとする。

送信先	() 保健所 健康推進班 歯科保健担当 行き
送信元	() 保育所(園) 送信者 ()
	市町村 () TEL () FAX ()

平成25年度 保育所(園) 歯科保健状況調査票

以下の項目の該当する部分に○、もしくは () 内への御記入をお願いします。

1: 嘱託歯科医名 () 歯科医院名 ()

2: 定期歯科健康診断を実施していますか。

1. 実施している () 回/年 月 月に実施 (2-2へ)
2. 実施していない

2-2: 治療が必要な場合は保護者へ伝えてありますか。

1. 伝えている 2. 伝えていない

3: 保育所(園)では歯みがきを実施していますか。

1. 実施している(実施クラス: 歳児クラス) (3-2へ)
2. 実施していない

3-2: 保育士による仕上げ磨きを行っていますか。

1. 行っている 2. 行っていない

4. むし歯予防にはフッ素応用が効果的ですが、保育所(園)でフッ素応用を取り入れていますか。

(1) フッ素塗布

1. 実施している () 回/年 2. 実施していない 3. 実施していないが検討中

(2) フッ素洗口

1. 実施している () 回/週 (薬剤名: ミラノール オラブリス フッ化ナトリウム製剤)
2. 実施していない
3. 実施していないが検討中

(3) フッ素配合歯みがき剤(ジェルやスプレーも可)・・・歯みがき時

1. 使っている 2. 使っていない 3. 歯みがきをさせていない
4. 実施していないが検討中

5. 健康教育・情報提供等について取り組んでいる内容に○をつけてください。

1. 園児への歯の健康に関する読み聞かせ(絵本・紙芝居等)
2. むし歯ゼロや治療済みの園児の表彰
3. おやつ工夫
4. 歯科医師、歯科衛生士による講話や歯みがき指導→ 対象は?(1.園児 2.保護者)
5. 園便り、お便りなどでの保護者への情報提供
6. その他 ()

6. 歯科に関することで困っていることや要望等がありましたら御記入下さい。

7. 歯科健康診断の結果を御記入下さい。(既に2回実施した場合には1回目の結果を御記入下さい)

	人数(人)			本数(本)		
	園児数	健診受診児数	むし歯がある児数	未処置歯総本数	処置歯総本数	
1歳児 クラス						H23. 4. 2~ H24. 4. 1生
2歳児 クラス						H22. 4. 2~ H23. 4. 1生
3歳児 クラス						H21. 4. 2~ H22. 4. 1生
4歳児 クラス						H20. 4. 2~ H21. 4. 1生
5歳児 クラス						H19. 4. 2~ H20. 4. 1生

乳歯についてのみ

次のことに特に留意して御記入ください。

●乳歯についてのみ記入

治療が全て終わっていてもむし歯がある児に含まれます

●園児数 ≥ 健診受診児数 ≥ むし歯がある児数 (未処置歯、処置歯が1本でもあればむし歯保有者)

●むし歯がある児数 ≤ (未処置歯総本数 + 処置歯総本数)